



Profile

鳥取大学農学部。京都府出身。2019年度農村16きっぷリーダー。「食と農林漁業大学生アワード 2018」のプレゼンターとして活躍し、農村16きっぷを2回目の農林水産大臣賞に導く。
好きな作業は草刈りとワイヤーメッシュ柵設置。

高澤 咲絵

たかざわ さきえ

農村16きっぷスタッフ

―農村16きっぷと私

農村16きっぷに入った理由は、とにかく農作業が好きだからです。小さい時から、家や学校で野菜を育てていて、野菜作りって楽しい！っていうのがルーツです。農業科のある高校に進学して、野菜作りをしていました。大学では、違うことをやってみたくて、農村16きっぷに入団しました。畑以外の草刈りや柵設置など経験したことのない農作業ができるから楽しいです。柵設置の時は、「イノシシ来るな！」って思いながら柵を立てています。(笑)

集落へボランティアに行っただけの考え方が変わりました。今まで交流したことのない人と話すことができるので、新たな発見も多いです。固定観念を捨てるような考えに出会って視野が広がりました。集落の方は温かく迎えてくださって、いろいろなことを教えて下さります。他の学生にとっても、良い機会となっていると思います。

―集落に思うこと

人口は増えたほうがいいと思うけど、少ないからこそ集落の交流があるし、仲がいいんだと思います。この前南部町清水川集落に行ったときに、町内放送で冠婚葬祭のニュースが流れた時はびっくりしました。都会だったら普通はないですし、家同士交流がないとそのようなことはできないと思います。つながりを大切にできるのが田舎の良さだと思います。

それから、集落に人を集めてにぎやかにしようという思いで活動されていることは素晴らしいなと思います。集落イベントのお手伝いに行くので好きです。もちろん、農作業が好きなので草刈りやワイヤーメッシュ柵設置などのボランティアも大好きです。学生が何か手伝いができる、喜んでくださるならもっともってボランティアに行きたいです。

―アワードのこと

昨年の11月に「食と農林漁業大学生アワード」に出場しました。農村16きっぷの普段の活動や、集落への思いを東京でプレゼンしてきました。(アワードについては、2ページを参照！)夜遅くまでプレゼンの準備をしたり、その合間にもボランティアに行ったり大変だったけど、それ以上のことを得ることができましたし、楽しかったです。農村16きっぷのことに詳しくなり、これからリーダーとして活動していく中で、役立つ財産を得ることができました。結果は重要視していませんでしたが、農村16きっぷの良さを最大限伝えることができ、納得のいくプレゼンになって嬉しかったです。でも、何より嬉しいのは今まで先輩が集落の皆様と築いてきたことが評価されたこと。皆様の支えがなければこのような財産を得ることはできませんでした。いつもありがとうございます！



魅力的な人に会いに行こっ！

担当：馬越 葵、吉岡 志織

鳥取県の過疎化、少子高齢化は長い間深刻な問題になっています。しかし、そのような問題を感じさせない程に、集落で出会う方は明るくて、素敵な方々ばかりです。また、集落を盛り上げるため情熱をもって活動されています。そして、私たちも農村16きっぷでの取り組みを東京で開催されたイベントで伝えてきた学生がいます。今回は1人の学生、2つの集落にインタビューをしました。



p.15

農村16きっぷスタッフ
たかざわ さきえ
高澤 咲絵



p.16

けたかちよう えげ
気高町会下



p.17

ほう きちようふくなが
伯耆町福永

小さな村に大輪の花

伯耆町福永

福永には菖蒲にまつわる「菖蒲ヶ平ル(しょうぶがなる)」伝説が言い伝えられています。その伝説の菖蒲畑を復活させ、人を集め、集落を維持させようと花菖蒲の栽培と「菖蒲まつり」が始まりました。毎年初夏には濃淡様々に美しく咲いた菖蒲の花をひとめ見ようと、5世帯の小さな村になんと400人以上の人が集まります。運営は学生と協力し、集落の自慢の米や野菜、ピザ窯で焼いた本格ピザなどを販売しています。新たな挑戦を試み、成功を取めたのか。福永集落の皆さんにお話を伺いました。



▲福永集落の中嶋理雄さん

はじめは学生に来てもらうことが不安でした。しかし、草刈りや菖蒲の植え替えなど、きつい作業も多いものの一生懸命されるので本当に助かっていました。集落の者3人でやるのと、学生を加えて10人でやるのでは全く違いますからね。それだけでなく、作業中におしゃべりしたり、学生がカエルやイモリを珍しがったり、夜は一緒にお酒を飲んだりすることで心が打ち解けてきて、学生と良い関係ができるんです。大学を卒業した人がたまにここを訪ねてくれて、就職してすっかりされた姿を見ると嬉しいですね。



4年前から学生と菖蒲まつりを開催していますが、何より集落に活気が生まれるのが嬉しいですね。小さな村でも、新しく自分たちで考えたイベントを自主的にやっているの、それは福永の素晴らしいところだと思っています。菖蒲まつりを始めてから集落にも人がたくさん来てにぎやかになるし、福永のことを知ってくださる方も増えたように思います。お客さんの喜ぶ顔を見るとやってみようと思った、うまくできた、と毎年ほっとした気持ちになります。学生と運営することで、集落の人数が少なくても出来るが増えます。



大変なことも頑張る理由

この集落は、何をやるにしてもとにかく人が足りないです。今は何とか回るけれど、やがて集落の者は引退します。菖蒲の管理は本当に大変ですし、自分たちでいつまで続けられるかは正直不安ですね。集落の仕事だけでなく、自分の仕事もあります。それでもやろうと思うのは、せっかくお客さんに来てもらうならきれいな菖蒲を見てもらいたいという気持ちがあるからです。とにかく自分が動けなくなるまでは菖蒲まつりを続けていきたいですね。

(担当:馬越葵)

新しいことは面白い

気高町会下

気高町会下集落には、「大堤池」という農業用のため池があります。そこでは、毎年秋に「うぐい突き」というイベントを開催しています。うぐい突きとは、「うぐい」と呼ばれる竹を編んだかごのような道具を池の底に突いて魚を取る400年もの歴史を持つ漁法です。その漁法をイベントとして楽しむのが現在のうぐい突き。なぜ長い間伝統が受け継がれているのか。若々しくパワフルに活動される、うぐい突き保存会会長の谷尾頼孜さんにインタビューしてきました。



▲会下集落の谷尾頼孜さん

長く続く理由

うぐい突きはもともと隣の村のもので、長い歴史の中で40年前くらいに一度途絶えそうになりました。何とかしなければと立ち上がり、私たち会下集落が存続の危機を救いました。このように近隣の村同士でできないことを補い合うことは大切ですね。一度途絶えてしまうと、あっという間に何十年と経ってしまいます。盛り上がりがないからといってやめてしまうと、もう一度再生するのは難しい。無理をする必要はないから、毎年コツコツと続けていくことが長く継続させていく秘訣です。



子どもたちの思い

イベントの前にはうぐい突き教室を開いたり、小学校にうぐい作りの出張授業をしています。池に入ると汚れるし、魚をさばいたりしないといけないから、親御さん方は嫌がられるんですけど(笑)。でも、子どもたちにとっては、うぐい突きで鯉を取った体験って忘れられないですね。子どもの時の思い出って、大人になった時に思い出してふと懐かしくなりますよね。子どもたちが大人になった時に地元のことを思い出してくれるのではないかな、と期待しています。

毎年進化することが伝統

今の若い人は昔のものの面白さがわからないという人が多いように思います。でも、後世に伝統を伝えたい。だから、若者が面白いと思うようなイベントにしよう、時代の流れに合わせたものに更新しています。たとえば、鯉を使った新しい料理を作って祭りに出したり、簡単なうぐい作りの作り方を開発したり。学生への依頼もその一つです。学生が来ることで会下は進化しているところから見られると思います。会下集落の活性化のために、若者の力に期待しています。



下町・坂町 八頭町

この二つの集落には3年に1度、2つの御輿を担いで集落内を練り歩き、最後には下船岡神社内で2つの御輿がぶつかり合う珍しい祭りがあります。神輿がぶつかり合う様子はとても迫力があって、印象に残ること間違いなしです。



Information

5月 イベント
運営補助

逢坂 鳥取市気高町

ここでは400年続く伝統漁法の「うぐい突き」を体験できます。うぐい突きとは、水を抜いたため池に入り、竹で編んだかごである「うぐい」を泥の中に突いて魚を捕る漁法です。気高町ならではの貴重な体験を通して、伝統を受け継ぐ大切さに気づけます。



Information

3月 芝桜植替え
9月 ウグイ突き
担当者
谷尾 幹夫
連絡先
090-4579-4589

横尾 岩美町

美しい棚田があり、懐かしさや心地よさを感じられる風景が広がります。5月に行われる田植えでは、子供たちと共に自然に触れる時間を過ごせます。苗を植えると景色の変わる棚田の田植えは貴重な体験です。地元の食材を使ったおいしい料理も出るので、お腹も心も満たされます。



Information

5月 田植え
9月 稲刈り
担当者
岩美町町役場
産業建設課
連絡先
0857-73-1562

上地 鳥取市国府町

鳥取県の山奥に位置し、2km続く土の水路があります。主な作業は水路清掃で、土砂や大きな石を除きながらきれいにしていきます。作業を終えて水が流れたときは達成感があります。学生にとって一番大変、だけど一番忘れられない。必ずもう一度ここに訪れたいくなります。



Information

5月 水路清掃
8月 水路清掃
担当者
細砂 博文
連絡先
0857-58-0302

白坪 智頭町

山郷駅の近くの集落。主に味噌づくりのお手伝いをします。集落の加工場で手作りの味噌を毎年作っています。大豆を煮て麴を混ぜ、すり潰した後に樽に詰めます。この工程を一日に何度も繰り返すので体力が必要です。しかし、他では味わえない達成感と普段できない経験ができます。

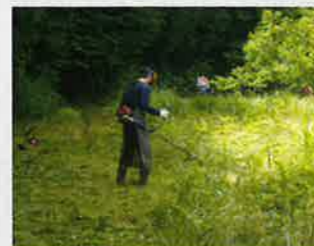


Information

8月 草刈り
1月 味噌づくり
担当者
尾崎 史明
連絡先
0858-75-9036

屋住 鳥取市用瀬町

棚田の風景が広がり、近くには川や洞窟がある自然豊かな集落です。夏と秋の草刈りの後には集落を案内してもらい、身体も心も癒されます。古民家の長谷川邸や獅子頭の湧水など、古きよき歴史を感じるスポットもたくさんあります。



Information

7月 草刈り
10月 草刈り
担当者
池本 和明
連絡先
090-8066-9036

鳥取集落図鑑

ムラ三昧

農村16きつぷがお世話になっている集落を一部紹介♪



神戸 鳥取市

鳥取市中心街から車で30分ほどの場所にある神戸集落。「こうべ」ではありません、「かんど」と読みます。そんな神戸集落は桃の名産地。私たちは、毎年夏に開かれる「桃まつり」のお手伝いをしています。大人から子供まで活気に満ち溢れている集落です。



Information

7月 桃祭り
担当者
神戸地域づくり
協議会
連絡先
0857-55-0001

神馬 河原町

棚田から見る眺めはとても美しいので「鳥取のマチュピチュ」と呼ばれています。秋には鳥取県の伝統芸能である麒麟獅子祭りが行われます。笛や太鼓の音で麒麟獅子が踊りながら、集落内を練り歩きます。鳥取市からも近いので訪れてみてください。



Information

5月 電気柵設置
10月 麒麟獅子舞
担当者
森下 光孝
連絡先
090-5261-3993

河本 鳥取市佐治町

河本集落では川に生い茂る葦を刈り、集めます。美しい山々に囲まれ、きれいな水が流れており、将来的にはホテル観賞ができる場所を目指しています。作業後には集落の方と水遊びをするなど、人とも自然とも仲良くなれる集落です。



Information

6月 草刈り
8月 葦刈り
担当者
徳永 努
連絡先
090-2000-4918

姉泊 気高町

姉泊集落には猪柵設置や井出掘りのお手伝いに来ています。井出掘りとは、春に田んぼの水路を掘って水を引くための水路清掃です。土砂が溜まっておりとても大変な作業ですが、集落と学生が協力していい汗をかける作業です。水路ではカエルやウナギと遭遇することも。



Information

5月 水路清掃

西成 江府町

裏大山が真正面にそびえたち、紅葉の時期には日ごとに色づく様子が見られます。地元の方の人数が少ないながらも、学生と協力して水路の草刈りを行います。作業後の交流会では地元のお母さんが作ってくれたご飯を食べながら、和気あいあいと話せるアットホームな集落です。



Information

4月 草刈り
10月 稲刈り
担当者
妹尾 和之
連絡先
0859-75-2353

福永 伯耆町

標高400mに位置し、大山の真っ白な雪と澄み切った空気に包まれた小さな集落です。活動は花菖蒲祭りのイベント補助や草刈り、菖蒲園整備などです。集落の方と周囲の自然に魅せられ、何度行っても飽きることがありません。



Information

6月 菖蒲祭
9月 菖蒲園整備
担当者
森 武史
連絡先
090-7777-4758

西郷 鳥取市河原町

この地区では、「西郷工芸の郷」づくりが目指されており、その一環として2016年より「西郷工芸祭り」が開催されています。このお祭りのお手伝いをする中で、工芸品をみたり、工芸作家さんと交流することができ、工芸品の素晴らしさや面白さを学びました。



Information

4月 草刈り
10月 稲刈り
担当者
北村 恭一
連絡先
090-3052-2754

吉川 若桜町

吉川集落はスキー場のある氷ノ山の近くにあり、雪がたくさん降ります。豊かな自然に囲まれており、春には集落の方と山菜取りをします。種類やどんな場所に生えているかを教わりながら探るので、山菜について詳しくなれます。



Information

4月 山菜集め
担当者
水口 正己
連絡先
090-5377-0228

別所 日野町

岡山県との県境に位置する集落です。別所集落では野焼きという伝統的な農作業が体験できます。稲に日光が当たるようにあぜ道の枯れ草を焼き払います。炎が斜面を駆け上がる光景は圧倒されません。一度は体験しておく価値アリ！



Information

4月 野焼き
12月 柵設置
担当者
松本 洋一
連絡先
090-9062-5986

清水川 南部町

古事記によると、この集落の湧き水は大国主命の復活蘇生に使われたそうです。今はその水を使って古代米を作っています。田植えや収穫の際には大国主命にまつわる伝説について聞くことができます。作業の前日に集落に泊まることもあり、夜遅くまで談笑するぐらい話しやすい方ばかりです。



Information

5月 田植え
10月 稲刈り
担当者
庄倉 三保子
連絡先
090-9467-3921

五月田 智頭町

五月田といえば「考え地蔵祭り」が思い浮かびます。地元の人たちの迫力あるダンスや演奏、ちびっ子たちのかわいい踊りなどが見られます。フィナーレは田園に広がる打ち上げ花火。電灯が少ない山里の暗闇に、頭上すぐにぱっと咲く花火は心奪われるほどに美しいです。



Information

7月 草刈り
8月 考え地蔵祭り
担当者
三輪 芳詳
連絡先
090-7371-8803

清水 関金町

清水集落はワサビの育つきれいな川もあるとてもどかな集落です。春に竹を切って竹林整備することで美しい里山を守っています。竹を切り倒すためにノコギリやナタなど普段使えない道具を使うので貴重な体験になります。作業後には、竹を使ってお米を炊く竹飯ごうが食べられるかも！



Information

4月 里山整備
8月 電気柵設置
担当者
山根 伸久

多里 日南町

7月末には「火祭り」というお祭りがあります。1000本以上のろうそくに火をつけていくと、とても幻想的な景色が広がります。10月には、鳥獣害対策として集落公認の柿取りイベント「柿ドロポー」があります。楽しみながら歴史や自然に触れることができます。



Information

7月 火祭り
10月 柿ドロポー
担当者
榎尾 稔正
連絡先
0859-84-0151

宮内 日南町

この集落は昨年度からボランティア派遣が始まった集落で、猪対策のワイヤーメッシュ柵を設置しました。地元の方々は親しみやすい方ばかりで作業中も交流会もあつという間に時間が過ぎるほどです。地元の方と力を合わせて楽しみながら作業を行うことができます。



Information

11月 猪柵設置
担当者
和田 浩一
連絡先
090-3179-0396

明高 関金町

田園風景の広がる中で、静かに回る水車がひときわ目を引く明高。ソバにこだわった村づくりをしています。自分たちで栽培したソバを水車や石臼を利用した昔ながらの製法で挽き、ソバを打ちます。12月には打ち立てのソバが振る舞われるそば祭りがあり、多くの人でにぎわいます。



Information

8月 夏祭り
12月 そば祭り
担当者
大江 博文
連絡先
0858-45-1128

小泉 関金町

清流が流れ、毎年夏には川遊びや釣りをする人たちににぎわう小泉。キャンプやBBQをすることも可能。また6月に行われるホタル祭りは必見。川と森に囲まれて見るホタルは自然豊かな証。川沿いの道に灯籠が並べられており、とてもいい雰囲気です。



Information

6月 ほたる祭り
担当者
養山 敏行
連絡先
090-7379-4426

編集後記

パンフ制作の感想を広報班のメンバーに聞いてみました！

担当P：清水川と私
編集後記
山田 幹《編集長》
今年も何とかパンフが完成しました！
嬉しさと感謝の気持ちが止まらない！
P10, 11, 23

担当P：農村スナップ
集落紹介
鈴木 祐
モチベーションと時間との闘い。
連戦連敗だった。
P12, 13, 18-21

担当P：目次
甲斐 弘毅
3年目なのに締切ギリギリになって
ごめんなさい。
P2, 3

担当P：農村16きっぷのお仕事
堤 光
初めての編集作業は楽しさ4割、反
省6割。勉強になりました。
P6, 7

担当P：農村16きっぷの日常
浅井 芹奈
イラレ（編集ソフト）の使い方がよ
く分からなかったけど楽しかった。
P8, 9

担当P：農村16きっぷとは
伊藤 朱里
文章つらかった…
文章力がほしい。
P4, 5

担当P：インタビュー
馬越 葵
ネスンドルマを歌いだそうかと思っ
た。広報班はだれも寝てはならぬ。
P15, 16, 17

担当P：表紙、インタビュー
吉岡 志織
パンフの締切が近づくにつれ、睡魔
との戦いが激しくなりました…
P1, 14, 24

過去号

バックナンバーをお求めの方は
お問い合わせください。



農山村の皆様へ

～学生と交流してみませんか～

＜申し込みからの流れ＞

1ヶ月前	ボランティアを要請	○ボランティア ・農作業のお手伝い イノシシ柵設置や水路清掃など、地域の方だけでは人手が足りない作業をお手伝いします。 ・イベントの補助 伝統的な祭事や行事を開くことが難しいとき、お手伝いします。 ・その他 集落の魅力が引き立つ『体験メニュー作り』、写真や映像などの、記録を残すなど、様々なことが可能ですので、お気軽にご相談ください。 ※他のボランティア予定と重なることもあるため、早めのご要請をお勧めします。
2週間前	ボランティア参加者を募集	
3-5日前	人数確定次第、代表者の方に連絡します	
当日	一緒に作業	

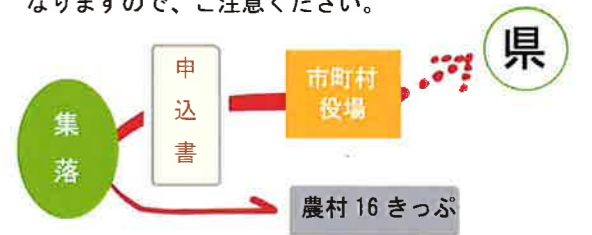
○諸注意 ※申し込み前にご一読ください

- 参加者は任意での募集となるため、必ずしも希望される人数が集まると保証することはできません。あらかじめご了承ください。
- この活動は中山間地域の集落支援を目的としているため、個人単位での募集依頼は受けかねます。ご依頼は、グループや集落の単位からお願い致します。
(例) ◎ 集落全体の田んぼの手入れ
✕ 一個人の田んぼの手入れ

○当日の注意

怪我や事故防止のため、作業開始前に必ず簡単な安全講習の実施をお願いします。

- 参加者の学生はボランティアですので、以下のようなお気遣いをお願いします。
(例) 作業後にお昼ご飯を一緒に食べる交流会を開いたり、それが難しければ、何か手土産を持たせてあげる等。
- 正式なお申し込みには、農村16きっぷへのご依頼と、市町村への申込書の提出が必要となります。この申し込み書の提出は、募集依頼の都度必要となりますので、ご注意ください。



Jinza Bank 鳥取県農林水産部農地・水保全課
鳥取県農山村ボランティア事務局
NPO法人 学生人材バンク
(編集：湊 ゆみえ)

Tel:0857-37-3373
〒680-0945 鳥取県鳥取市湖山町南 1-246
FAX:0857-37-3374
E-mail:info@jinzaibank.net
URL:https://www.jinzaibank.net

またここに

またあの人に...



鳥取県 農林水産部 農地・水保全課
鳥取県農山村ボランティア事務局
NPO 法人 学生人材バンク

〒680-0945

鳥取県鳥取市湖山町南 1-246

TEL : 0857-37-3373

FAX : 0857-37-3374

Email: info@jinzaibank.net

URL : <http://www.jinzaibank.net>

